

第1学年2組 学級活動（1）指導案

令和元年6月17日（月）第2校時
1年2組（1年2組教室）

I 議題 じぶんたちでできることをみつけよう（かかりかつどう）

内容（1）学級や学校の生活づくり イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理

II 議題について

入学して2か月が経ち、学校生活に慣れてきたことで、自分の意見を出せる児童が増えてきた。また、授業の後に黒板をきれいにしたり、ノートなどを配ったりしてくれる児童が多くおり、手伝いをしたいという意欲が高まってきている。一方で、仕事の取り合いになってしまったり、決まった内容ばかりを繰り返して行っていたりする姿が見られ、課題も挙がってきている。

4、5月の学級活動では、主に学級活動（2）のア「基本的な生活習慣の形成」についての題材を扱ってきた。今回の学級活動は、話し合い活動や合意形成について学ぶスタートともなる。ここで、学級活動の時間は、自分たちの学級をよりよくしていくために大切な時間であるということを感じさせたい。課題が解決できたり、話し合いで決まった内容が明確になったりすることが、次の活動への意欲へとつながり、主体的な学びへ向かっていけるのではないかと考える。

話し合い活動では、「出し合う」「比べ合う」「まとめる（決める）」の段階に分け、課題について話し合い、この先の児童主体の学級会へとつなげられるようにしたい。また、事後には、決まったことをすぐに実践できる場を設け、一連の活動を振り返ることで、次の活動への意欲付けとなるようにしたい。

III 評価規準

よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	・話し合いの約束を守って、話し合いに参加している。
集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通した思考・判断・表現	・自分たちができることや、現在の課題について考えている。 ・自分たちができると、教師の助けが必要なこととを分類したり、課題についての改善策を出したりしている。
主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	・友達と仲良く助け合い、係活動を進めようとしている。

IV 指導と評価の計画（事前・本時・事後）

学習活動・指導上の留意点【指導形態】	評価項目【観点】	時
1 児童が主体的に取り組んでいることや課題について把握し、写真などで記録しておく。【教師】	自分たちができることや、現在の課題について、考えている。【思考・判断・表現】	事前
2 自分たちでできると、教師の助けが必要なこととを分類して話し合うことで、自分たちでできることを明確にし、学級の係活動を決める。【一斉】	自分たちができると、教師の助けが必要なこととを分類したり、学級をよりよくするための意見を出したりしている。【思考・判断・表現】 話し合いの約束を守って、話し合いに参加している。【知識・技能】	本時
3 係ごとに仕事内容を確認、活動を進めたり、掲示物を作成したりする。【個別・児童】	友達と仲良く助け合い、係活動を進めたり、掲示物を作成したりしている。【主体的に取り組む態度】	事後

V 校内研修との関わり

「はばたく群馬の指導プランⅡ」の「学級活動」にある単位時間のつくり方を基に授業を行う。学級をよりよくするための仕事を分類し、自分たちにできることを可視化することで、特別活動における主体的な学びへとつなげていけるようにする。

VI 人権教育との関わり

自分たちにできることを明確にすることで、自己の有用感を感じられるようにする。また、事後の活動の中では、友達の良さやがんばりなどにも目を向けられるようにする。

Ⅶ 本時

- 1 **ねらい** 自分たちでできることと、教師の助けが必要なことを分類して話し合うことで、自分たちでできることを明確にし、学級の係活動を決められるようにする。
- 2 **準備** 児童が学級の仕事をしている写真、課題となっていることの表、ネームプレート
- 3 **人権教育の視点**
○技能：友達の意見を最後まで聞き、話し合いに参加することができる。
- 4 **展開**

過程	学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の支援及び留意点・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
導入	1 学級のためにがんばっていることについて振り返る。 ・言われなくても、プリントを配ったことがあるよ。 2 学級の仕事について、困ったことやうまくいかなかったことを思い出し、確認する。 ・黒板をきれいにしているけど、黒板消しが4個しかない。	5	○係活動への意欲を高められるよう、学級の仕事に進んで取り組んでいる児童の姿を写真で提示する。 ○係活動の課題を意識できるよう、事前にとった簡単なアンケートの結果を示す。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> じぶんたちでできることをみつけて、くらすのためにできるやくわりをきめよう。 (かかりかっどう) </div>			
展開	3 係活動を決めるために、自分たちでできることを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">出し合う</div> 導入で例に挙げた学級の仕事以外にできないことがないか、意見を出し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">比べ合う</div> 出された意見を「自分たちでできるか」「先生の手伝いが必要か」という視点で比べ、分類する。 ・体育で号令をかけるのはできる。 ・電気のスイッチは届かないけど、椅子を使えばできる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">まとめる(決める)</div> 自分たちでできることを分担し、係の役割を選ぶ。	10 10 15	○話し合いに参加しやすくするため、コの字型に机を配置し、学級会を進める。 ○視覚的に把握できるよう、事前にとっておいた児童の写真や、仕事につながりそうな物の写真を、児童の意見に合わせて、黒板に貼っていく。 ・用意しておいた写真以外に出た意見は、ホワイトボードに記入して、黒板に貼る。 ○児童の意欲を優先するため、無理そうに思える意見でも一旦は受け止め、自分たちがやるためにはどんな工夫が必要か考えるよう促す。 ・やってみてうまくいかなかった点については、次の係決め課題としてつなげていけばよいことを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◇自分たちでできることを明確にして、学級の係活動を決めている。(発表)【思考・判断・表現】 </div> ○児童の意欲を優先して係を選べるよう、第3希望まで考えておくよう伝える。また、希望人数が足りない係については、どうすればよいかについて投げかける。
終末	4 係活動の取組に向けての意欲を伝え合う。	5	○事後の係活動に主体的に取り組むことができるよう、数名の児童に感想や意気込みを聞き、意欲を称賛する。 ・係ごとに写真を撮って掲示物を作成することや、係の名前を考えることを伝え、事後の活動につなげる。